



魅せる!
現場

~現場を支える人々編~

現場を支える 五人の侍



天ヶ瀬ダム再開
トンネル放流設備
ゲート室部他建設工事

佳境を迎えている天ヶ瀬ダム再開トンネル放流設備ゲート室部他建設工事

工事を確実に、そして安全に進めるためには、多くの人たちと様々な知恵と技術が必要だ

一日でも早く、安全に、高い品質で工事を完了させるため、現場を支える五人の侍を紹介する

鹿島建設株式会社
天ヶ瀬工事事務所
工事課長

やすなが とよひこ
安永 豊彦

1992年入社 46歳

監理技術者を務める安永は、トンネル工事に20年以上携わってきたトンネルのプロフェッショナル。「トンネル工事は、掘削してみないと分からない未知の領域や新しい発見があり、常に課題をクリアしていかなければならない。そこに難しさややりがいを感じる。」と安永は語る。

監理技術者は、施工計画の作成から、工程や品質の管理などを取り仕切る、いわば現場の監督者。

特に本工事は、内径約26mという大規模な立坑、さらに直径約10mものトンネルをNATM工法で構築するという非常に珍しい工事。事例が少ないため、従来以上に想像や想定が必要だ。しかも詳細設計をしながら工事を進めるという特異な現場でもある。安永は、常に課題と戦っている。



工事を監督する侍



株式会社竹田建設
現場代理人

いのもと たけし
岩本 毅

1992年入社 51歳

トンネル掘削によって発生するずり（岩石や土砂）を搬出するのが岩本の仕事だ。重機を操作して、ずりをダンプトラックに積み込むだけではない。ずり量を把握して、搬出するダンプトラックのフォーメーションも組むのだ。多いときには、一日90台ものダンプトラックを取りまとめる。

「いかに効率よく搬出するかが重要。ダンプトラックを遊ばせることなく、無駄のない作業ができたときに充実感を感じる。」と岩本は語る。

もちろん効率性の追求だけでない。「重機が故障したら、工事がすべてストップしてしまう。そのために重機のコマメなメンテナンスを徹底している。」という強い責任感をもって、日々業務に取り組んでいる。

搬出・運搬にこだわりを持つ侍





次世代を育成する侍



協拓建設株式会社
現場代理人

やまもと しんや
山本 真也

1977年入社 56歳

これまで36年、18もの現場を経験してきたという山本。現在は主に指導する立場から、現場を巡視し、管理している。

「安全に、早く、より安く、良いものをつくること。それを現場のみんなに指導するのが一番の仕事。」と山本は語る。現場のみんなが安全に働きやすい環境をつくるため、人員や機械の配置、材料等の供給を的確に行わなくてはならない。

トンネルが貫通し、暗闇の中に太陽の光が見える瞬間を、山本はこれまで何度も経験してきた。それが何より充実感を感じる時だという。その光を現場のみんなと見るために、山本は今日も指導にあたる。

仮設工事を極める侍



鹿島建設株式会社
天ヶ瀬工事事務所
機電課長代理

すどう しんいち
須藤 信一

1996年入社 37歳

本設工事だけでなく、工事に伴う機械電気設備や仮設備などの計画・実施をするのも、機電担当である須藤の重要な任務だ。

「トンネルを掘削するといった本設工事のために必要な、あらゆる周辺業務が仮設工事。本設工事は図面があるが、仮設工事は図面もない。ゼロから始めなくてはならない。」と須藤は語る。特に本工事は、希少な工事ということもあり、通常よりも倍以上の設備が必要だ。その中で計画や対策をたて、それを具現化していかななくてはならない。

「120%を目指して計画し、計画通りにできあがった時。」須藤が何より充実感を感じる瞬間だ。



鹿島建設株式会社
天ヶ瀬工事事務所
副所長

こばやし しげかず
小林 茂和

1991年入社 49歳

工程や品質、安全など、工事全体をマネジメントするのが、工事事務所の所長の役割だ。その所長の考えや思いを具現化し、監理技術者と協力しながら現場の士気を高め、取りまとめていく。それが副所長である小林の任務だ。例えば、「安全」と一言にいても、計画段階での作業方法の変更、設備の対策や実施段階での作業手順の確認、修正、設備の対策を進め、さらに安全教育を通して「現場ルールの周知徹底、安全活動による危険作業の防止、保護具の使用の意味」を伝えるのも重要な任務だ。

また、構造物の完成へたどりつく方法は幾通りもあり、「施工方法、施工順序を変えるだけで安全で効率化できることもある。」と小林は語る。現場条件、状況の変化に応じてよりよい方法を選択し、思い描いた通りに進めさせることが、小林にとって何よりも醍醐味だ。



現場の士気を高める侍

本工事では、トンネルを構築するために
NATM工法を採用している。

NATM工法とは、火薬を発破させて岩を砕きながら、
トンネルを掘り進めていく工法である。

現在、NATM工法による

トンネル掘削工事が本格化している。



掘削工事進行中!



火薬をセットするための削孔



孔に火薬をセット



発破の騒音を抑制するための防音屋根

次回は減勢池部を担当する大林・飛島JVが初登場です。ご期待ください!